

おろそかにしてはならない！ マメコバチの繭洗浄



～マメコバチは小さな小さな縁の下の力持ち～

西村山農業技術普及課

専門普及指導員

高橋 永暉

マメコバチが**激減**しています



WARNING

記録的な猛暑を背景に山形県に限らず**全国的にマメコバチが激減**



WARNING

普及課で「マメコバチの繭洗浄講習会」を開催



生産者が**各自の園地からヨシ巢**を持参し、繭洗浄を実践



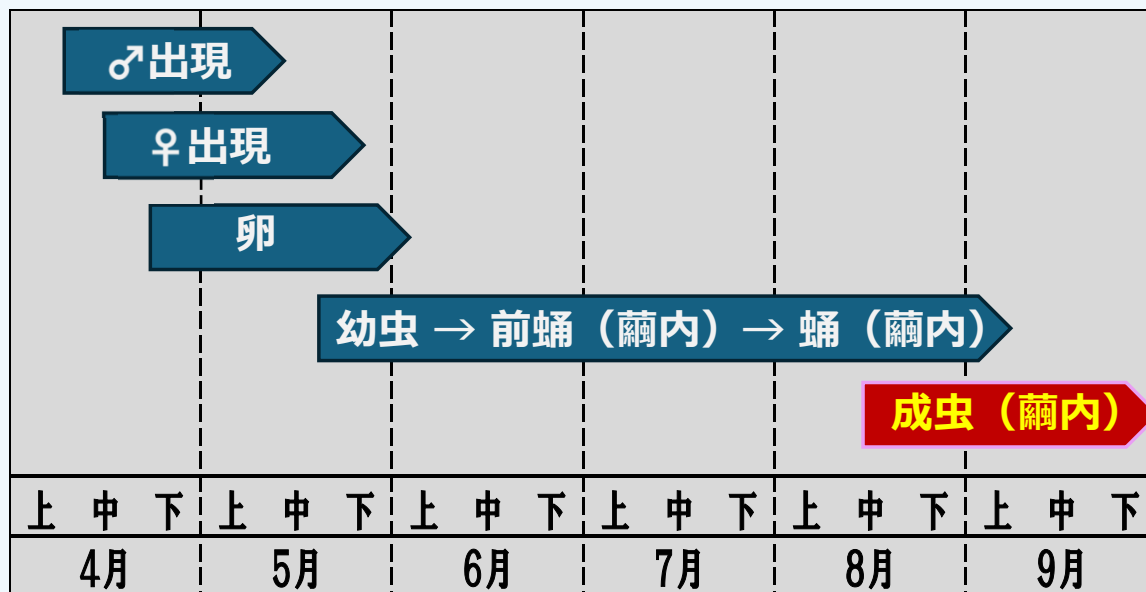
500本程度のヨシ巢から
これしか繭が集まらなかった

開花期に様々な園地で
マメコバチを観察

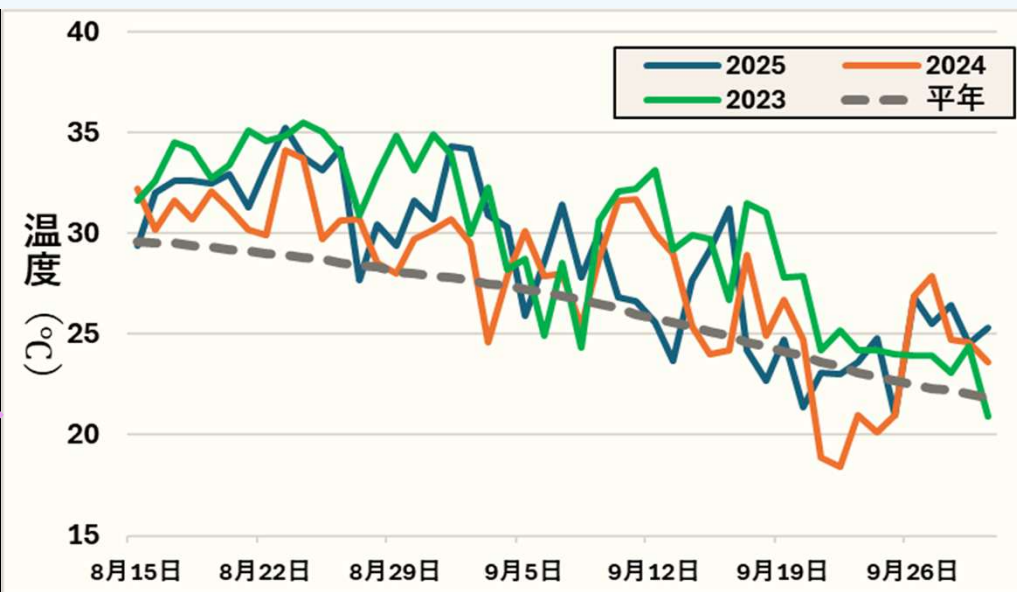


ず〜っと観察しても
数えられる程度しか
マメコバチがいなかった

なぜ、マメコバチが激減しているのか？



マメコバチの生活史



8月中旬から9月の最高気温(アメダス左沢)

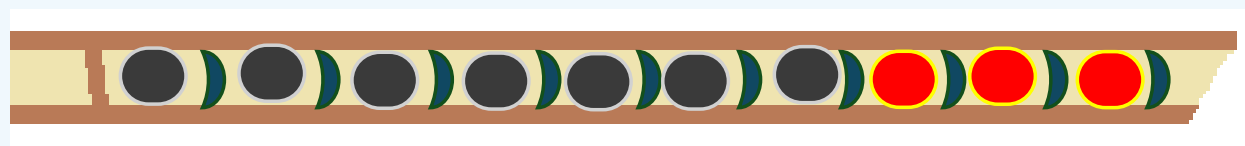
- マメコバチは5月頃に卵を産み、8月中旬以降、**繭の中で成虫**になる
- 繭の中の成虫は、**高温に弱い**



- ここ数年間、**異常高温**の年が続いている
- 特に、**秋になっても気温が下がらず**、暑さに耐えきれずに**死亡**しているのでは

なぜ、マメコバチが激減しているのか？

夏～秋の期間中



生存

死亡

出口

夏季～秋季にかけて
異常高温によって、マユの中で成虫が
越冬できずに死亡

翌年の開花期



ヨシ巢から出られず
そのまま死亡

出口を
塞いでしまう

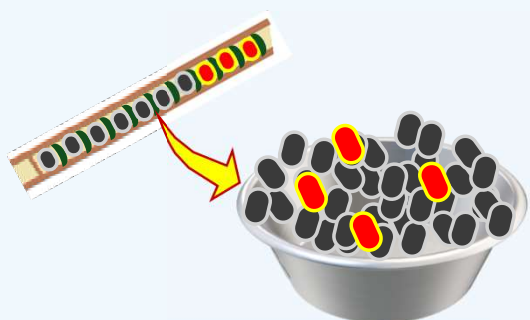
出口

翌年の開花期に
死亡繭が出口を防ぎ
奥のマメコバチも道づれに

マメコバチの減少を加速、さくらんぼの受粉効率も低下！！

マメコバチの繭洗浄をおろそかにしないで！

- 繭洗浄は、**マメコバチを救出**する大事な作業です（実施時期：11月～3月頃）



生存繭の救出



繭洗浄



マメコバチもさくらんぼも増える

異常気象だからこそ、「繭洗浄」も当たり前に行う作業の1つではないでしょうか？

- マメコバチの天敵（コナダ二類、寄生バチ、カツオブシムシ等）を洗い流す

天敵の寄生によってマメコバチの**死亡率が高まる**

**マメコバチの気持ちになっていただき
生活しやすい環境作りをお願いします**



← 天敵が多発し、
マメコバチが
死亡した様子

繭洗浄に必要なもの

繭洗浄に必要な道具は、誰でもすぐに手に入ります



カッターや
ナイフ



ボール



水



網じゃくし



ハケ



ザル



トレイ



新聞紙



紙箱

最も大事なものは、さくらんぼを成らせてくれる**マメコバチに感謝する心**です

作業①：ヨシ巢の切開（マメコバチの救出）

ヨシ巢に切れ目を入れる



切れ目から割っていく



取り出した繭

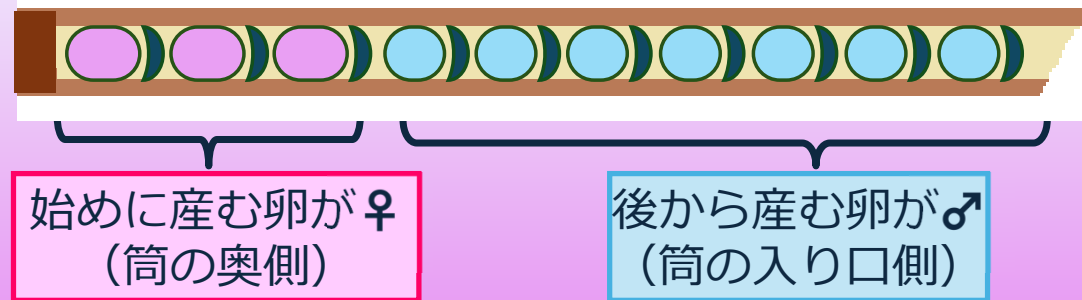


Point !

- ヨシ巢の一番奥までキッチリ切開する
(メスの繭を捨ててしまうといけないため)

ヨシ巢の奥

出入口



作業②：予備洗浄

集めた繭を冷水に投入する



網じゃくしで繭全体を濡らす



約3分後、繭をザルに移す



Point !

- 繭は水に濡れても大丈夫です
心配せずにジャブジャブ濡らしましょう

作業③：本洗浄（この作業は3回程度繰り返し行う）

ザルをボールにセットし、
冷水を入れる



ハケで繭をザルに擦りつける



3分後、水を捨てる



Point !

- 冷水の量は、**繭が少しだけ浮く程度**
（冷水が多すぎると、繭がプカプカ浮いて、ザルに擦りにくくなる）
- 思っているよりも**強めに擦りつける**（繭を潰さない程度）

作業④：乾燥・保管

洗浄後の繭を新聞紙を敷いたトレー上で乾燥させる（2日間程度）



綺麗になった繭

繭を紙箱に入れ、
冷蔵庫等で保管する

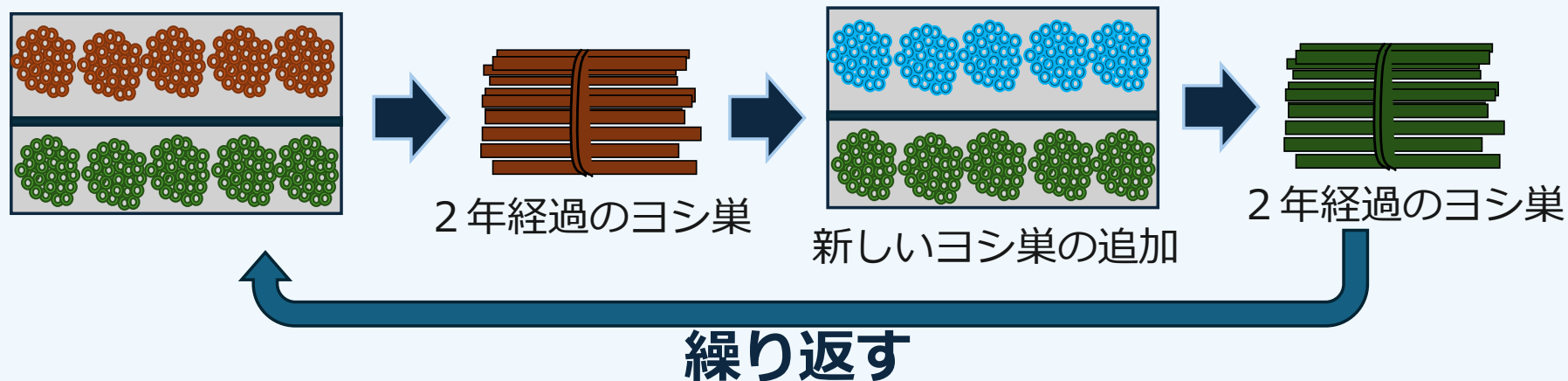


Point !

- 繭が**凍らないような場所**で乾燥させましょう
(乾燥後は、そのまま放置せず、早めに紙箱に入れて、冷蔵庫等の冷暗所で保管する)
- 保管中にネズミ等から繭が食べられないように注意する

マメコバチの優良園地でのお話

- マメコバチの繭洗浄は、**毎年欠かさず、2年経ったヨシ巢の繭を洗浄**している



- 今年、繭洗浄を行ったら、**今までで一番、ヨシ巢1本当当たりの繭が少なかった**
(取り出した繭の総数も前年の**約5分の1**まで減少、やはり高温による影響か)



今年



これまで

最後に

一人で黙々と繭洗浄するもよし、
仲間達と集まって繭洗浄するもよし、
地域全体でマメコバチを増やしていきましょう！

